

## 第6回妊婦授乳婦・小児科領域研修会参加者アンケート集計結果

開催日時： 2019年4月14日(日) 9:30～15:30

開催場所： 大宮ソニック市民ホール403 404

講演1： 「新生児重症敗血症に対する血液凝固コントロールを含めたアプローチ」  
鹿児島市立病院 総合周産期母子医療センター センター長  
新生児内科部長 茨 聡 先生

講演2： 「小児在宅医療における薬局薬剤師の役割  
～急性期医療と災害時医療を支えるために～」  
ココカラファイン薬局砧店 川名 三知代 先生

製品紹介 「リコモジュリン点滴静注用12800の適正使用情報」  
旭化成ファーマ(株) 医薬営業本部 学術担当 塚本 駿介 先生

講演3： 「産科の緊急時使用薬について」  
筑波大学附属病院 薬剤部 小西 久美 先生

講演4： 「チームで立ち向かう周産期救急」  
筑波大学医学医療系 救急・集中治療医学 井上 貴昭 先生

総合評点
3.4 (4件尺度)

研修者数	アンケート提出数	アンケート回収率	アンケート意見あり(枚)
104	91	88%	33

評価記入---4. とても適切 3. 適切 2. やや不適切 1. 全く不適切

1. 本研修会の開催をどこで知ったか

郵送されたポスター	送信されたFAX	メール	HP	メルマガ	その他
11	25	4	30	11	10

2. メールマガジンを知っているか

知っている	知らない	無回答
45	41	5

登録済み	登録していない	無回答
24	22	45

3. 性別と年代

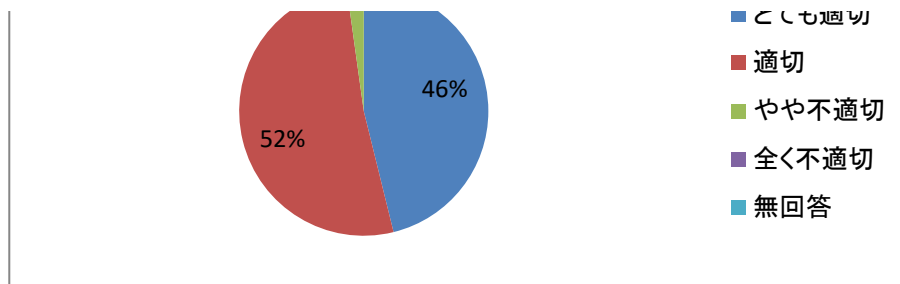
男	女	無回答
28	62	1

20代	30代	40代	50代	60歳以上	無回答
29	35	9	14	3	1

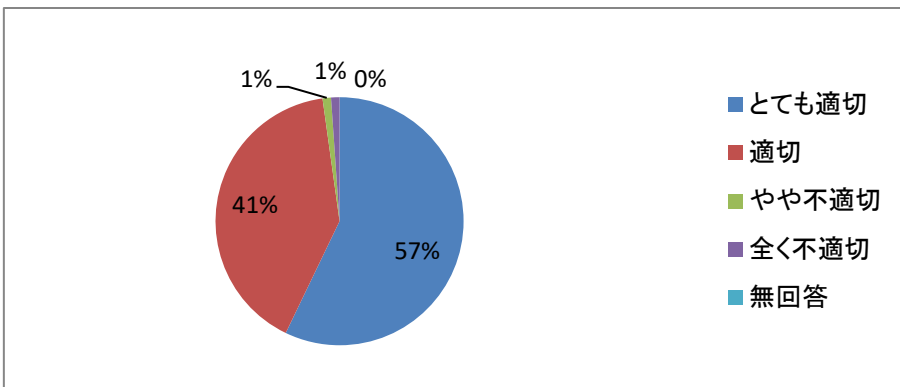
4. 講演テーマについて

4	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	42	47	2	0	0	3.4

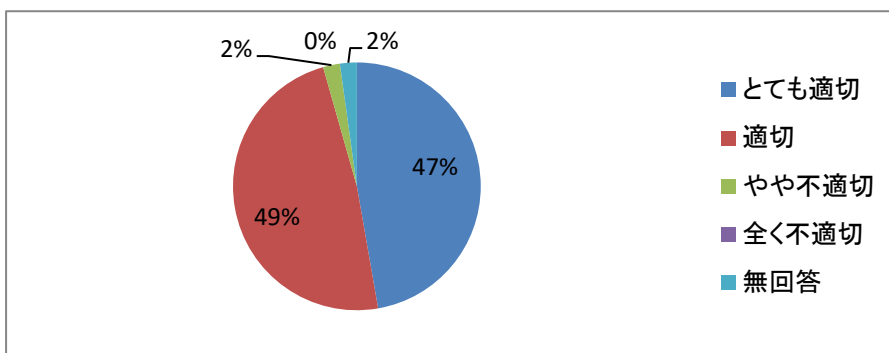




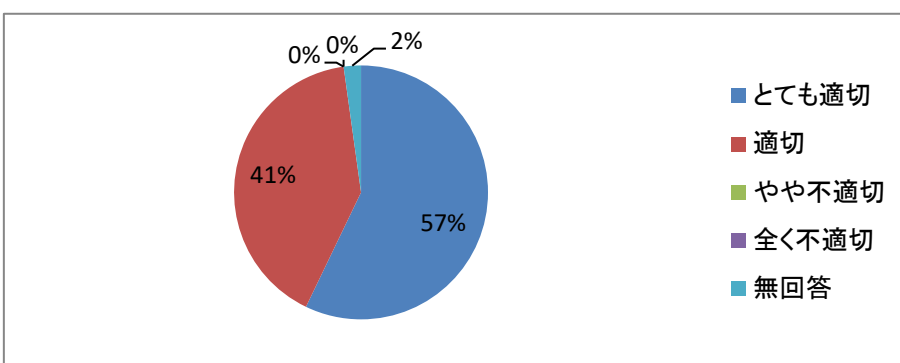
5	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	52	37	1	1	0	3.6



6	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	43	44	2	0	2	3.5



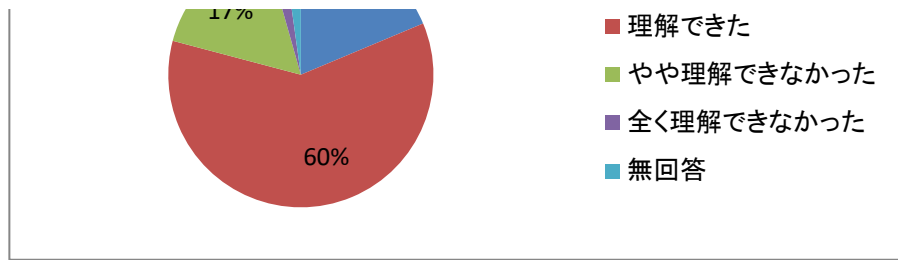
7	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	52	37	0	0	2	3.6



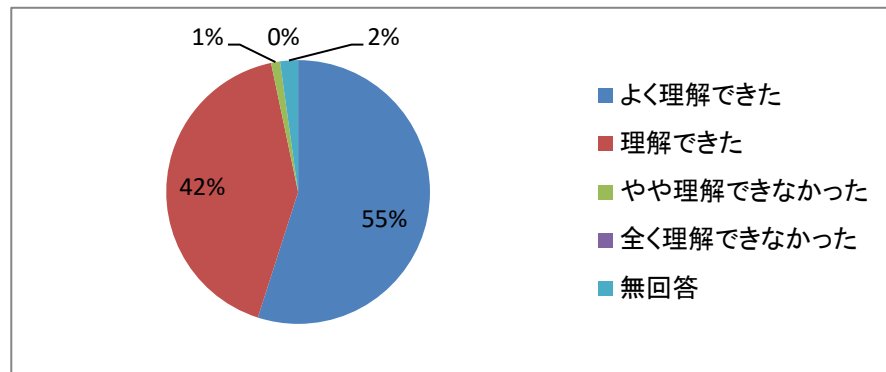
#### 講演内容について

8	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかった	全く理解できなかった	無回答	平均
	17	55	15	2	2	3

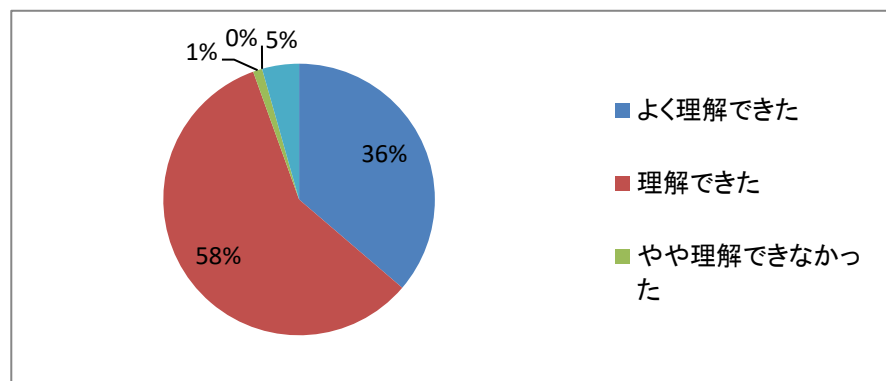




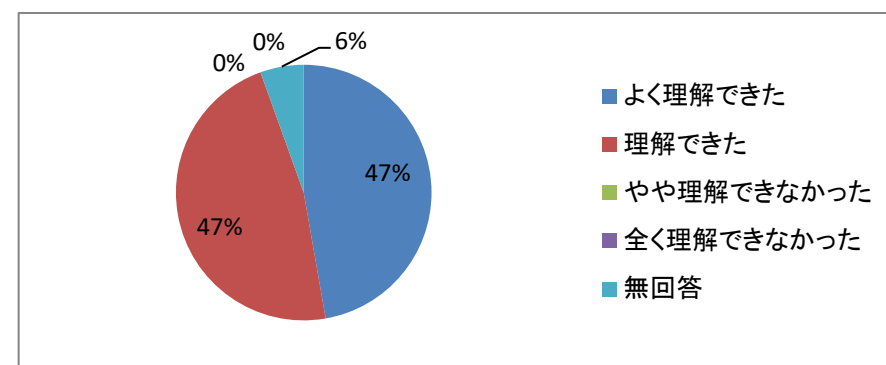
9	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかった	全く理解できなかった	無回答	平均
	50	38	1	0	2	3.6



10	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかった	全く理解できなかった	無回答	平均
	33	53	1	0	4	3.4

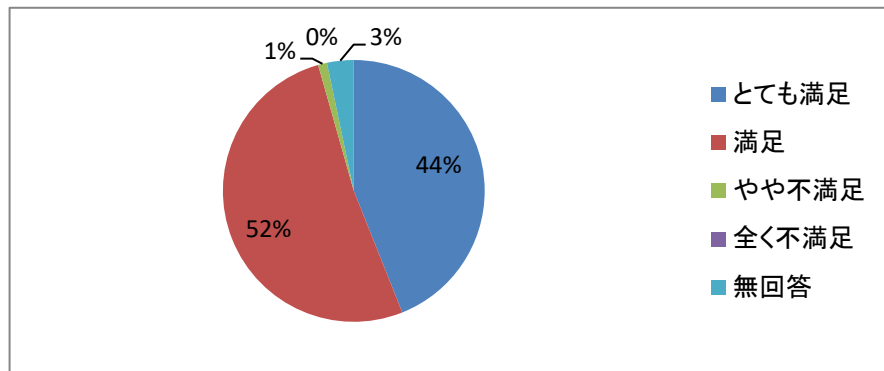


11	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかった	全く理解できなかった	無回答	平均
	43	43	0	0	5	3.5



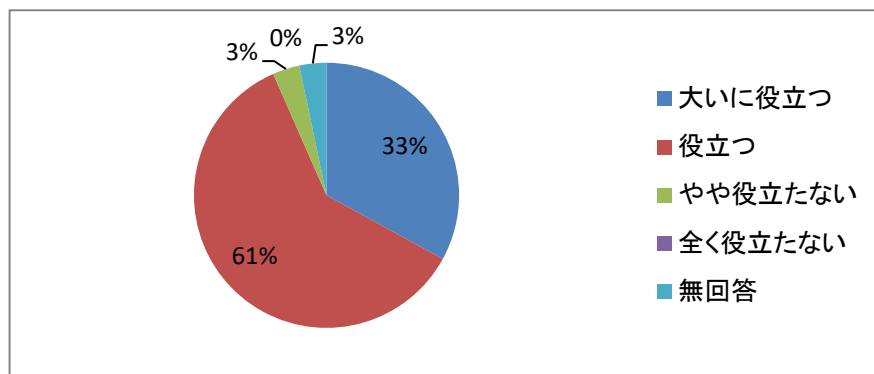
## 12. 本研修会の印象について

12	とても満足	満足	やや不満足	全く不満足	無回答	平均
	40	47	1	0	3	3.4



### 13. 本研修会で学んだことは今後の業務に役立つか

13	大いに役立つ	役立つ	やや役立つ ない	全く役立つ ない	無回答	平均
	30	55	3	0	3	3.3



### アンケート意見（33枚）

講演テーマについて	
<講演1> 内容が少し難しかった	1
講演内容について	
<講演1> 細かい略語が分からなかった	1
保険薬局勤務のためやや理解できなかった	1
<講演2> 重心の子に対する薬剤師の役割を考慮することができた	1
<講演3> 添付文書以外の内容が知れたかった	1
<講演4> とても分かりやすく、面白かった	1
13. 研修会で学んだことは今後の業務に役立つか	
産科やNICUがないのでやや役立つ	1
14. 今後取り上げてほしいテーマについて	
川崎病	1
白血病	1
ムコ多糖症	1
トリソミー	1
ミトコンドリア病	1
乳児血管腫	1
小児の感染症	1
小児科病棟でのチーム医療	1
小児科病棟での看護師の仕事	1
小児科病棟での看取り	1
小児への服薬指導方法	1
小児医療について	1
新生児、小児の病態、薬物動態	1
不妊治療	2
てんかん治療を行っている妊婦授乳婦に対しての薬剤師の関わり	1
糖尿病妊婦の薬について	1
妊婦授乳婦に対する薬剤投与について	2
授乳薬	1
HDPの管理	1

周産期の精神疾患薬物療法	1
周産期の感染症治療について	1
ホルモン療法	1
不整脈薬の使い分け	1
麻酔科医の薬	1
腎機能低下症の患者と薬剤のアプローチ	1
精神領域	1
栄養管理	1
輸液	1
EBM	1
脳外科関連領域	1
検査科の領域	1
レントゲン（X線の読影）	1
多職種が薬剤師に求めること	1
<b>15. 本研修会で気づいたこと・質問・希望</b>	
なかなかNICUやERの話を聞く機会がないため勉強になった	1
薬剤師がチーム医療に携えることがたくさんあると思った	1
周産期、新生児期、在宅など医療は続いているので薬薬連携がとても重要であると感じた	1
最近、産科病棟に関わるようになったため、どのように薬剤師が関わっていければよいか考えるよい機会になった	1
勤務先には小児科、産婦人科がなく知識も薄いので大変勉強になった。小児心臓病棟にいたので、今回学習したことを少しでも活かせたらと思う	1
新生児医療、産科救急はすばやく臨機応変に対応ができ、その素早く対応するためには常日頃から多職種のチームワークが必要だとよく分かった。薬剤師は求められる知識は薬についてしっかりと知っておく必要を改めて感じた	1
今回の研修会はなかなか普段勉強できない分野を取り上げてくれたのでよかった。妊婦授乳婦・小児科領域の研修会は少ないのでこれからも取り上げてほしい	1
講演2の川名先生の話が現場ならではの事で大変勉強になった。調剤薬局の薬剤師なので自分の薬局では何ができるかを改めて考えてみようと思った	1
埼玉県で妊婦授乳婦を学べるので助かっている。周産期救急が特に面白かった。運営と準備は大変だと思うが今後もまた研修会を開催してほしい	1
一日で3単位まとめてとれるのでありがたい。小児、妊婦の分野の研修会をたくさん開催してほしい。	1
スライドの資料があったのでとても講義に集中して聞くことができた	1
他県病薬会員も会員扱いになると嬉しい	1
講義時間が長い時はお昼休憩を短くして、早く終わらせてほしい	1
講師の方の熱意は分かるが時間は守ってほしい	1